



あomorい社会福祉士会だより 第61号

会の花 カキツバタ 花言葉「幸せは必ず来る」

会員の力を結集して県民の福祉の向上を！

～第3期中期計画を策定～

令和4年3月の理事会で、本会の第3期中期計画が承認されました。計画の期間は2022（令和4）年度から、2026（令和8）年度の5年間です。第2期計画について4つの基本目標毎に各委員会・支部が定めた目標指数のうち過半数が達成されたと総括したうえで、第3期については、5年間で重点的に取り組む施策に焦点化し、各委員会・支部ごとの目標指標の設定は行わないこととしています。

また、社会福祉士に求められる役割について示した、平成30年の厚生労働省社会保障審議会の福祉人材確保専門分科会の報告書で、職能団体に求められる取り組みとして①地域でソーシャルワーク機能が発揮されるような取組の推進、②社会福祉士の役割や成果の「見える化」が挙げられたことを受け、会員のソーシャルワーク活動が県民に届くことが県民の福祉の向上につな

がるとして、第3期の基本理念として、「会員一人ひとりがやりがいをも持って活動に参加し、県民の福祉の向上を図る」を掲げています。

そして、①ばあとなあ青森と会の法人後見の体制を強化し、県民ニーズに応える質の高い後見活動を行う、②「生涯研修センター（仮称）」を創設し、地域共生社会の実現に寄与する人材を輩出する、③令和8年度に全国大会を招致し、県内への社会福祉士の「見える化」を図り、理解と信頼を深めていく、の3つの重点施策を掲げました。



会長メッセージ

第3期中期計画が完成しました。皆さんのお手元に届きましたか。今年度から5年間の計画です。進行工程表（12～13ページ）にまとめて表現しています。第2期中期計画の反省を踏まえ、本会の内部理事が分担して執筆しました。手元に置いて見ていただきたいです。

会としてさらに飛躍するべく力を蓄え、最終年の全国大会に繋げていく展開をイメージしています。会員の皆さんお一人ひとりのパワーの結集を期待します。

青森県社会福祉士会会長 鳴海春輝



令和4年度定時総会・研修会を開催

令和4年5月29日(日)、県民福祉プラザ4階大会議室及びzoomによるオンラインとのハイブリッド方式で、令和4年度青森県社会福祉士会定時総会が開催されました。

令和3年度事業報告及び決算報告が承認され、また、令和4年度事業計画、収支予算、第3期中期計画の策定、令和8年度に日本社会福祉士会全国大会を招致すること等が報告されました。

なお、総会に先駆けてオンラインによる研修会が行われ、「ヤングケアラー支援とソーシャルワーカー」と題して、弘前大学教職大学院教授の吉

田美穂氏からの講演の他、弘前学院大学の小川幸裕先生を進行役に、スクールソーシャルワーカーである中南支部渡邊春華さん、三八支部小泉紀之さん、西北支部川村沙織さんの3名から実践報告がありました。



研修会もオンラインでお話が聞けました。

本県での日本社会福祉士会全国大会開催決定！

2026(令和8)年度に！

本会は、第3期中期計画に全国大会の招致を盛り込み立候補したところ、4月16日の日本社会福祉士会の理事会で、2026(令和8)年度の第34回日本社会福祉士会全国大会が、本県で開催されることが決定されました。

本会では、令和4年度中に実行委員会組織を立

ち上げ準備を進め、1年前の2025年度にプレ企画及び青森県社会福祉士会学術集会を開催し、全国大会に臨むこととしています。

今年7月2日・3日には、東京大会が行われました。詳しくは次号でお知らせします。

副会長に最上氏(東青)、納谷氏(下北)を選任

令和3年度の臨時総会で副会長を2名置くとの定款変更が承認されたことに伴い、5月13日の理事会で、最上和幸理事(東青支部)、納谷む

つみ理事(下北支部)の2名が、新たに副会長に選任されました。

今後のお二人のご活躍を期待します！



最上和幸副会長

第三期中期計画が策定され、全国大会の誘致など会の活動もさらなる発展段階を迎えています。鳴海会長、納谷副会長とともに、県内のソーシャルワークの広がり力を注いでいきます。



納谷むつみ副会長

人生100年時代の半分以上を過ぎ、仲間がいることの心強さが身に染みる日々です。会員の皆様を少しでも元気づけられれば、と思っています。

仲間を増やす取り組み始動！

—若年層の入会金・会費免除、入会促進チラシ等—

日本社会福祉士会の入会率（社会福祉士登録者に占める会員の割合）は、令和4年5月現在16.35%となっています。日士会は入会率を向上させるため、令和4年度から6年度までの限定措置として、30歳未満の入会金・初年度会費が免除することとしました。

青森県社会福祉士会も、同様の措置をとることとし、5月13日の令和4年度第1回理事会で、会費徴収規程の改正が承認されました。

本会の入会率は、長年全国1位を維持し現在も

2位ですが、令和4年5月末現在29.07%となり、ついに3割を切りました。このたび、日士会の呼びかけに応じて、入会促進チラシを作成しました。

支部の役員をはじめ会員の皆さん、これらの取り組みを活用して、お近くの未加入社会福祉士に働きかけるなど、入会促進を図っていきましょう！

入会促進チラシはこちらから。（リンク拡散希望！）→



ようこそ！

事務局職員に白坂さんが採用されました

令和4年6月から、県士会事務局のパート職員として社会福祉士の白坂優月（しらさかゆづき）さん（東青支部）が採用されました。主に法人後見の業務を担います。

白坂さんからごあいさつ

6月から入職しました白坂です。主に法人後見業務の担当となりますが、事務局として皆様の活動のお力になれるよう精一杯頑張りたいと思います。

不慣れな点も多くご迷惑をおかけしますが、よろしく願いいたします。



ウクライナ義援金募集を9月末まで延長

日本社会福祉士会も加盟している日本ソーシャルワーク連盟（JFSW）は、今年3月10日から国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）の地域組織である「IFSW ヨーロッパ」がウクライナからの避難民を支援するソーシャルワーク活動費として義援金募集活動を行っています。9月30日まで期間を延長しました。状況に慣れずに支援したいですね！

詳しくはこちら（JFSWのHP）→



GLOBAL SOCIAL WORK: WORKING WITH THE DISPLACED COMMUNITIES FROM UKRAINE

Information Type: News, Statement
Topic: IFSW
April 7, 2022



In response to the invasion of Ukraine, funding is being directed to IFSW Europe in recognition that a social work approach includes meeting the immediate needs of people in the crisis and working with them to make hope for positive change a reality in the future. Together that hope will be realised by social workers and communities rebuilding the physical and social infrastructure once the crisis is over. This long-term perspective is a unique feature in the historic role of social work.

JFSW の義援金に謝意を表す
IFSW ヨーロッパの記事
(IFSW の HP より)

委員会・支部の
活動をお知らせ！

A A C S W ニュース

中南支部



中南支部では6月30日に「中南支部総会」と「リモート支部会 2022①」を開催し28名にご参加頂きました。リモート研修では、弘前医療福祉大学短期大学部の中村直樹先生から「介護施設・事業所等におけるBCP（業務継続計画）について」の講演、その後グループで情報交換を行いました。連続講座として、8月に「感染症編」、10月に「自然災害編」の開催を予定しておりますので、みなさまのご参加をお待ちしております。



2022年3月13日に第1回目の「独立型社会福祉士実践報告会」を開催しました。

26名の参加者をむかえ、基調講演として弘前学院大学の小川さんから「独立型社会福祉士とは一期待される実践とリスク管理」、 「なかや社会福祉士事務所」の中谷恵さんと「さくら社会福祉士事務所」の中渡俊明さんから実践報告を頂きました。

今後も、独立開業する社会福祉士のソーシャルワークの醍醐味と魅力を地域社会に発信していきたいと思えます。



独立型社会福祉士部会

紙面に収まらない以下の支部情報を、おまとめQRコードでお伝えします。

(右のQRコードから、2つの記事にアクセスできます)

三八支部

支部通信第10号(6月4日の支部会報告)

「救急救命医が考える人生会議の意義」

下北支部

(6月11日)

「保護観察官による更生保護出張講座」





会員登場!

かなざわこうたろう

第2回 金沢公太郎さん (三八支部)

こんにちは。三八支部所属の金沢といいます。入会してからの年数は長くなり、今年で12年目になります。社会福祉士会では、ユース部会で部会長を務めるほか、生涯研修委員や三八支部の事務局を担当しております。会の活動を通して様々な方と顔を合わせる機会がありますが、それをなかなか活かしていないのが現状です。(^^);

4月より八戸市にある池田介護研究所に入職し、現在は通所利用者(高齢者・障害者)の支援を行っています。限られた資源のなかで、それぞれどう活かし利用者の支援につなげていくか、学んだことを振り返りながら取り組んでいます。

プライベートでは、5月に第一子が誕生しました。新しい仕事を覚えつつ、育児もしながらと、日々バタバタしておりますが、同時に新たな楽しみもでき、それを励みに日々奮闘しております。

今年度前半は福祉士会の活動をセーブしていますが、徐々に活動再開していきます。今までの関わりを仕事や会の活動に繋げられるよう、頑張ります。



全国大会(2017年福島大会)での金沢さん

★会員からの特ダネ!★

多職種連携がはかどる医療介護専用 SNS 「メディカルケアステーション」

「メディカルケアステーション(MCS)」という無料の SNS アプリをご紹介します。①患者情報を共有するための、医療介護従事者のチームの非公開型グループタイムライン、②患者本人・家族をメンバーに含めた関係者の非公開型タイムライン、③地域の医療介護従事者同士のグループタイムライン(相談や勉強会告知、災害時緊急連絡等に利用可能)の3つの機能があります。

(紹介者:下北支部 山本八重子さんのコメント)

診療所とケアマネとの連絡、利用者を中心とし家族を含めたチームの連絡など、様々な場面で使用しています。緊急の場合は電話連絡となりますが、『急ぎではないけど確認・意見がほしい』『相談してもいいのかな』という場面で、気軽に使えるツールだと感じています。

(説明資料はこちら→)



メディカルケアステーションの HP



求む 情報!!

「特ダネ!」は、会員の皆さんからの情報で、あまり知られてない社会資源を紹介します。教えあって互いの仕事や活動に役立てましょう。情報をいつでも事務局にお寄せください。(掲載時匿名可。編集部が情報を確認の上編集します)。

※SWに関する作品・書籍を紹介する「私のおススメ」、今回は紙面の都合でお休み!



東青支部 阿部一樹 中嶋亜都沙 高橋明教 白坂優月

中南支部 工藤里実 齋藤一期 木村祥司 清野孝宜

三八支部 高橋広文 小林綾子 志田将基 橘真弓 西北五支部 工藤拓磨 下北支部 坂本花歩

第三者評価調査員募集！

事務局までお気軽に♪

第三者評価は福祉サービスの質の向上に重要ですが、県内で評価機関が少なくなり、本会への評価依頼が増えています。業界の期待に応えるため、調査員を増やします。調査員になることで、ご自分の所属を振り返るよい機会となります。業務や報酬等の詳細は事務局にお問い合わせください。

経験がない方大歓迎！先輩調査員が丁寧に説明しますので、安心してご応募ください！

読者アンケートのお願い

紙面充実のため、アンケートにご協力ください。今までも、ご意見から連載「会員登場！」を始めたり、寄せられた情報から「私のおススメ！」「会員からの特ダネ！」を書き、今回は提案されたQRコードも使ってみました。今回もぜひご回答お祈りします。



アンケートフォームはこちら↑

information



●会員数情報

令和4年6月30日現在

- * 会員数 659 名
- * 入会率 29.16%（全国2位）
- * 人口 10万人当たりの会員数 53.97人（全国10位）

●寄付金情報

令和4年3月～令和4年6月末

- * 件数 3件
- * 32,050円

御支援いただきありがとうございます。

●変更届提出のお願い

氏名・住所・勤務先・所属都道府県社会福祉士会等に変更がございましたら、会員情報を変更いたしますので、事務局へ変更届を提出してください。本会ホームページの会員専用ページ上の事務局「入退会届」をダウンロードして記入し、日本社会福祉士会又は、本会事務局までFAXをお願いいたします。ご不明点等ございましたら事務局までお問い合わせください。

【編集後記】

編集後記まで読んでくださり、ありがとうございます。今回も、やっとお届けできそうで嬉しいです。

ご意見をもとに、初めてQRコードを使ってみました。ぜひアンケートでご意見をお願いします。編集の相棒が辞められたので、今回初めて、たった一人で作ってみました！やればできるもんですね！w

アンケートでの、皆さんからの評価の言葉が励みになっています。寂しくないです。

でもやっぱり、ここでこっそりつぶやきます。編集お仲間募集！w

発行日 令和4年8月8日
発行人 鳴海春輝
編集 青森県社会福祉士会
中期計画活性化委員会

公益社団法人青森県社会福祉士会

〒030-0822

青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ内

TEL 017-723-2560 FAX 017-752-6877

http://www.aacsw.or.jp

E-mail aacsw@nifty.com